

特別  
巡回展

ほうきだいら

# Excavation 箒平

— ふるさとを発掘する —

明治大学建築学科 有志

小口 萌恵

清水 咲希

三輪 このみ

渡邊 麻里

大庭 健太郎

後藤 陽菜

橋口 佳苗

宮川 紗衣

特別展示

山本 佑香 (ものづくり技能工芸学部建設学科卒業)

2020年12月24日(木) - 2021年1月31日(日)

会場：ふたばいんふお (富岡町)

ほうきだいら

# Excavation 箒平

— ふるさとを発掘する —

2020年12月24日(木) - 2021年1月31日(日)

会場：ふたばいんふお（富岡町）

箒平地区は広野町の中心街から離れた山間の集落です。

ふくしまの故郷の原風景ともいえるような、美しく整備された水田と里山が受け継がれており、額賀誠志作詞による童謡「とんぼのめがね」の舞台にもなった場所です。

近年の高齢化や移転によって、現存する家屋は10軒程度となり、集落の住民も10人以下となりました。

2019年、明治大学理工学部建築学科の学生たちがこの集落を調査し、この場所に受け継がれる地域性や将来への課題を探究しました。彼らはそれらの調査をもとに、地域の魅力を育て、発信・体験できるような建築的プロジェクトを提案しました。

本展ではそれら提案の成果を地域の方々と共有し、「箒平」という場所について、その未来について、より多くの人々と語り合える場をつくりたいと考えています。

また、本展では特別ゲストとして、ものづくり大学技能工芸学部建設学科卒業生の山本佑香さんを迎え、彼女の卒業設計を展示します。

震災後、帰還困難区域に指定された双葉町にある自身の実家を舞台に、避難指示の緩和に合わせた段階的なプロセスを通じ、避難指示解除後の将来像までをデザインした建築的プロジェクトです。

本展で紹介するそれぞれの建築プロジェクトは、大きな社会課題のなかで見えづらくなっている個々人の思い出や集落の物語、未来に向けた想いを結い合わせる契機になると考えています。

これらプロジェクトを通じ、「ふるさと」と呼べる場所について、人々が考えを巡らせる機会になることを願っています。



## 展示内容

### 山間集落の地域性を発信する建築プロジェクト

- 福島県広野町 幕平集落 の可能性 -

#### 広野町・幕平地域調査のまとめ

2019 年度園田・安部スタジオ 3 年生一同

「人口・世帯」「歴史・気候・風土」「公共施設・資源」

#### テーマ：幕平の可能性

小口 萌恋 「幕平フルコース」

清水 咲希 「幕平ワクワク Lab」

三輪 このみ 「Itonami ～場の価値を再確認する～」

渡邊 麻里 「半農半 X」

#### テーマ：10㎡の可能性

大庭 健太郎 「階段小屋」

後藤 陽菜 「森林浴の小屋」

橋口 佳苗 「KOYA CAR」

宮川 紗衣 「360°の見晴台」



#### 特別展示

### ふるさとの家の未来を考える建築プロジェクト

山本 佑香 (ものづくり技能工芸学部建築学科卒業)

「すみかえる - 双葉町の木造住宅改修計画 -」



#### 日時

2020 年 12 月 24 日 (木) ~ 2021 年 1 月 31 日 (日)

日曜・祝日休館 / 午前 11:00 ~ 午後 6:00

#### 会場

ふたばいんふお

〒979-1111 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央 295

本展覧会は 2020 年 11 月 ~ 12 月に広野町のふらっとあっとで開催された「Excavation 幕平 - ふるさとを発掘する -」の特別巡回展です。



#### 同時開催

### Excavating Home Land - ふるさとを発掘する -

会場：多世代交流拠点 ふらっとあっと (広野町)

会期：2021 年 1 月 8 日 (金) - 1 月 31 日 (日)

監修：園田 真穂子 (明治大学教授)、安部 良 (安部倉アトリエ一級建築士事務所)

協力：ふたばいんふお、ちゃまプロジェクト、石川 初 (慶應義塾大学教授)、戸田 都生男 (ものづくり大学教授)、永井 祐二 (早稲田大学教授)